

○奈良教育長 教育委員会協議会を開会いたします。

まず、教育委員会の活動状況について、事務局から報告をお願いいたします。

乾口教育政策課長。

○乾口教育政策課長 それでは、教育委員の活動について、ご説明いたします。

お手元の資料をご覧ください。

9月18日から10月29日までの活動内容としましては、活動日、活動内容、活動場所、活動出席委員名として記載をしております。

以上、簡単ではございますが、教育委員の活動の説明とさせていただきます。

○奈良教育長 続きまして、委員の活動について、所感の報告をしたいと思います。

それでは委員を代表しまして、神田委員から報告をお願いいたします。

○神田委員 それでは、私のほうから10月の所感について報告をしたいと思います。

山田東小学校及び樟葉幼稚園の運動会、そしてまた、枚方市小学生陸上競技大会を参観しまして、昨日は、大阪府町村教育委員会研修会に出席いたしました。また、第一中学校、明倫小学校、開成小学校の公開授業も参観をいたしました。

樟葉幼稚園の運動会は、テーマの「地球・世界の動物紀行」の基に、13の演技が構成されておりました。園児の力いっぱいの演技にたくさんの保護者の方々の声援もあり、素晴らしい運動会でありました。

来年度は3歳児が入園しますので、さらに盛り上がる幼稚園の運動会だと思いました。

今日は、公開授業と授業時数の2点につきまして述べたいと思います。

1点目ですが、10月18日研究指定校の1つであります学力向上推進事業の第一中学校の公開授業を参観いたしました。

3年生の国語の合意を形成し、課題を解決するという話し合いの方法を理解する授業でした。

授業が始まる前は元気な生徒たちでしたが、授業は始まりますとサッと静まりました。本時の目当てを基に、4人の班で話し合うときも司会の生徒を中心に、どの生徒も課題に対して真剣に意見を述べていました。内容の濃い50分間でした。

指導案は小学校よりシンプルでしたが、本単元の指導に当たりましての教材観、生徒観、指導観と大事なポイントをきちんと記載されておりましたし、また、今求められている単元の指導計画と評価計画も細かく記載されておりました。

授業後の研究協議会で、授業者の武内先生のお話から落ち着いた授業や指導案の良さを知ることができました。

指導案は教科会で作成し、練りに練り、「これだけ考えた指導案を作成したのは初めてでした」と話されておりました。普段から教科会で交流し、昨年度は目当て、今年度は振り返りに重点を当てて学校として取り組んでいるということです。

杉本教育推進プランナーの事前からの指導と共に、当日の指導助言も分かりやすくよかったです。

奈良教育長が、昨年度から進められています中学校の教科会を中心とした授業改善に取り組まれている第一中学校の公開授業でした。

続きまして、10月23日、24日には、平成29年度から研究指定校であります学力向上研究モデル校の明倫小学校の算数と開成小学校の国語の公開授業を参観しました。

明倫小学校は算数科の校内研究を1年間の道徳を挟んで6年目、開成小学校は国語科が5年目で2校とも実践を継続的に積み重ねてきた枚方市では数少ない学校です。そのこともあり、教育委員会が進めていますHirakata授業スタンダードに基づく、主体的、対話的で深い学びのある授業を先進的に取り組んでいる学校です。

公開授業は、明倫小学校は3年の小数のはしたの大きさを考える。開成小学校4年の段落同士の関係をとらえ、説明の工夫を考えるという授業でした。

公開授業につきましては、良い点と共に課題もありましたが、研究授業にふさわしい授業でした。

この2校の学力向上研究モデル校の公開授業、研究協議会を参観しまして、幾つかの共通点がありました。

1つ目は、指導案が学年や研究部で十分検討され、事前授業を踏まえましてよく練られているということです。特に明倫小学校の算数の指導案は、Hirakata授業スタンダードのモデルだけではなく、全国的なレベルの指導案でした。

2つ目は、研究協議会の持ち方です。普通は、初めに授業者から授業の話があり、全体で協議というように進められますが、この2校とも初めに校内研修における基本的な考え方を学力向上推進担当者がパワーポイントで説明をし、そのことを踏まえまして、授業のポイントを理解し、協議会に臨みます。

3つ目は、研究主題として、研究主題の設定の理由、全国学力・学習状況調査などの児童の実態を踏まえまして研究仮説の設定をされているということです。この研究仮説を基に、当日の指導もポイントを指導案に位置付けて作成し、授業をされていました。研究協議会もこの授業ポイントを基に意見交換をされ、焦点化された研究協議会でした。

4つ目は、指導助言者に算数、国語で今活躍をされています大学の先生を2年間招へいしているということです。明倫小学校は、奈良教育大学の近藤裕教授、開成小学校は、神戸常盤大学の山下敦子准教授です。研究協議会の指導助言では、両先生とも新学習指導要領の内容を踏まえ、的確、明解に大変分かりやすく話をされました。

このような大学の先生から教科の理論と実践を結びつける指導を受け、そのことを踏まえ、本市の指導主事や、教育推進プランナーも指導されています。このような校内研究の進め方は、学力向上には大変重要です。このことから明倫小学校、開成小学校の公開授業、研究協議会は、内容のある学力向上研究モデル校の最終年度の発表でした。

教育委員会が示しています学力向上研究モデル校の研究内容は、学力向上にかかる取り組みの研究を推進する、また研究成果などを発表し、実践を普及するとあります。両校とも、他校からの参加者を見ますと、明倫小学校は8名、開成小学校は2名でした。昨年度の半数以下という状況でして、大変残念でありました。

枚方市では学力向上にかかる研究指定校が長年無かった状況で、平成29年度にスタートした学力向上研究モデル校の小学校5校、中学校3校は、その中核的な研究指定校と位置付けられ

ています。公開授業の他の学校からの参加体制につきましては、研究指定校の研究の状況もありますから、一律にとはいきませんが、学力向上研究モデル校の明倫小学校、開成小学校の公開授業が昨年度からの両校の研究実践を継続的に見ていきますと、全小学校から参加があればと思いました。

来年度の研究指定校は、事業面にとらわれずに研究内容を踏まえまして、公開授業の参加者を考慮されたいと思います。

2点目は、授業時数についてです。

学校訪問や公開授業で校長先生からよく耳にしますのが、今年は地震や台風による臨時休業日が今までに5日間ありましたことから、授業確保のことです。授業時数や働き方改革と関連し、文部科学省は総合的な学習時間につきまして、次のような方針を10月1日の中央教育審議会の教育課程部会で示しています。

内容は、小・中学校の総合的な学習時間について、土曜、日曜日や長期休業日を含め、学校外の活動を年間授業時数の4分の1程度の約18時間まで授業として認められるようにすることです。年内をめどに通知を出し、早ければ来年度から実施できるようにするという事です。

この文部科学省の方針を踏まえまして、新聞では再来年度以降に実施されます次期学習要領では、小学校では英語科が教化科され、3年から6年の授業時数が現行より年35時間増えます。土曜、日曜日や長期休業日に外部委託できましたら、平日の総合学習を減らし、英語など別の授業に充てることも可能になります。学校外の活動の委託先はNPO法人や公共施設などを想定し、学校と連携できていましたら、教員が引率しなくても授業として認めるということです。

年間授業時数を調べてみますと、春・夏・冬の長期休業日が9週あります。祝日が今年度は11日ありますので約2週でして、合わせますと約11週の休業日となります。年間52週がありますが、そのうち11週減りますので、授業ができます週は41週となります。各教科の授業時数は、年間35週で計画されていますので、卒業式や入学式、運動会や校外学習、修学旅行などの時間に使われるのが約6週になります。授業時数で考えますと、1週が中学校の最大の30時間としますと、180時間となりますが、学校行事等でかなりの時間が必要です。今年は既に5日間、1週分が休業日になっているわけです。

枚方市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則に、校長は教育上、特に必要があり、かつやむを得ない理由があるときは、あらかじめ教育委員会の承認を受け、休業日を授業日に変更することができるのとあります。

先日、樟葉幼稚園に行きましたときに、楠葉中学校の田辺校長が11月にあります創立記念日を授業日にするという事とも言われておりました。

外国語活動の教科化やインフルエンザなど臨時休業日があることを想定し、授業時数の確保につきましては、校長の判断だけではなく、教育委員会として長期休業日や現在実施していません土曜授業の在り方等について考える必要があると言えます。

以上、所感といたします。

○奈良教育長 ありがとうございます。

今の報告の中で、教育委員会としましては一考すべき部分も幾つか指摘されておりましたの

で、またご検討いただけたらと思います。

それでは、事務局からの報告案件ですが、案件1について説明をお願いいたします。

千原教職員課長。

○千原教職員課長 それでは案件1、叙位・叙勲についてご説明いたします。

恐れ入りますが、協議会資料1ページをご覧ください。

1. 概要ですが、枚方市立小学校の元校長につきまして、内閣総理大臣からその行動に対し、叙位・叙勲が行われましたので報告するものでございます。

2. 内容ですが、叙位といたしまして、正六位を元枚方市立中宮小学校長、故奥野年蔵先生が受賞されました。

続きまして、叙勲といたしまして、瑞宝双光章を元枚方市立樟葉西小学校長、佐藤繁旦先生が受賞されました。

3. その他といたしまして、両者ともご自宅にて伝達を済ませております。

以上、簡単ではございますが、案件1、叙位・叙勲につきましての説明をさせていただきます。

○奈良教育長 この件につきまして、ご意見ご質問等がありますか。

ご質問等がないようですので、本件については説明の聴取程度にとどめます。

それでは、本日の協議会の案件は以上となりますので、協議会を終了します。